

2016 年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日（土）～12月24日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015051
齋藤優菜

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先: 慶熙大学校国際教育院

留学期間:平成 28 年 9 月 5 日 (月)～平成 28 年 12 月 16 日 (金)

※帰国は 12 月 24 日 (土)

2 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学校は 1949 年に開校し、ソウルキャンパス・水原キャンパス・光陵キャンパスの 3 つのキャンパスに分かれている。71 学科 24 の学部と 18 の大学院を持つ大きな大学である。現在 50 か国 150 校以上の姉妹提携を結び国際化を目指している。また、韓国内初の韓国語教育専攻を学部に開設した。国際化をリードする韓国の名門大学である。

(2) 大学で行われている教育について

慶熙大学校国際教育院は毎年 30 か国 700 人以上の留学生が韓国語を勉強している。クラスは初級から高級にまで細かく分かれ、自分のレベルにあった環境で韓国語を学ぶことができる。また、少人数でのクラス構成になっているためより学習に集中しやすい。

慶熙大学校の生徒が留学生 1 人 1 人につく「トウミ制度」というものがある。ここで、韓国の生活や文化を知るための大きな機会を作ることができる。またトウミの学生との会話はすべて韓国語で行うため韓国語向上にも大きな役割を果たしてくれる。他にもインターネットでの韓国語教育も行っているため学校での授業外でも学習できる機会が多くある。

3 留学目的

今回の派遣留学の目的は、実際に使える韓国語を身に着けること韓国と日本の文化の違いを体験するということである。日本で韓国語を学んでいても正直学んだことを実際に使うことは授業以外にはない。また、いつどんな時にどのように使うことができるのか理解することは難しいと感じた。そして、日本語が通じない環境でどれだけ自分の伝えたいことを伝えることができるのか自分の現状を知りたいということも派遣留学の目的の一つであった。

言語の向上はもちろん、当たり前だったことが当たり前ではないというような普段とは違う環境で生活し一つでも人として成長したいと考えたため派遣留学に参加することに決めた。

4 留学内容

以下から派遣留学の内容を記述する。

派遣留学中に行った詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

派遣留学中のスケジュールは以下のとおりである。

夏学期

月	日(曜日)	午前	午後
9	3(土)	到着	
	5(月)	オリエンテーション	入校式
	6(火)	韓国語	特講
	7(水)	韓国語	映画
	8(木)	現地学習	
	9(金)	韓国語	
	10(土)	韓国語	
	12(月)	韓国語	映画
	13(火)	韓国語	特講
	14(水)	現地学習	
	15(木)	チュソク(休日)	
	16(金)	韓国語	
	19(月)	韓国語	映画
	20(火)	韓国語	特講
	21(水)	韓国語	歌
	22(木)	韓国語	セミナー
23(金)	修了式		

秋学期

月	日(曜日)	午前	午後
9	26(月)	韓国語	特講
	27(火)	韓国語	歌
	28(水)	入校式	映画
	29(木)	韓国語	セミナー
	30(金)	韓国語	
10	4(火)	韓国語	特講
	5(水)	韓国語	映画
	6(木)	韓国語	セミナー
	7(金)	韓国語	
	10(月)	韓国語	映画
	11(火)	韓国語	特講

	12 (水)	韓国語	特講
	13 (木)	韓国語	セミナー
	14 (金)	韓国語	
	17 (月)	韓国語	映画
	18 (火)	韓国語	特講
	19 (水)	韓国語	歌
	20 (木)	韓国語	セミナー
	21 (金)	韓国語	
	24 (月)	韓国語	歌
	25 (火)	韓国語	映画
	26 (水)	韓国語	特講
	27 (木)	韓国語	セミナー
	28 (金)	韓国語	
	31 (月)	テスト	
11	1 (火)	テスト	特講
	2 (水)	韓国語	歌
	3 (木)	韓国語	セミナー
	4 (金)	韓国語	
	6 (日)	現地学習 (雪岳山)	
	7 (月)	現地学習 (雪岳山)	
	8 (火)	特別授業 (映画鑑賞)	映画
	9 (水)	韓国語	セミナー
	10 (木)	韓国語	特講
	11 (金)	韓国語	
	14 (月)	韓国語	歌
	15 (火)	韓国語	映画
	16 (水)	韓国語	歌
	17 (木)	韓国語	セミナー
	18 (金)	韓国語	
	21 (月)	韓国語	映画
	22 (火)	韓国語	特講
	23 (水)	韓国語	歌
	24 (木)	韓国語	セミナー
	25 (金)	韓国語	
	28 (月)	韓国語	映画

	29 (火)	韓国語	特講
	30 (水)	韓国語	歌
12	1 (木)	テスト	セミナー
	2 (金)	テスト	
	5 (月)	テスト返し	映画
	6 (火)	クラスの集まり	セミナー
	7 (水)	修了式	歌
	8 (木)	韓国語能力試験特別授業	セミナー
	9 (金)	韓国語能力試験特別授業	
	12 (月)	韓国語能力試験特別授業	映画
	13 (火)	韓国語能力試験特別授業	特講
	14 (水)	韓国語能力試験特別授業	歌
	15 (木)	韓国語能力試験特別授業	セミナー
	16 (金)	韓国語能力試験特別授業	修了式
	17 (土)	自由研修	
	18 (日)	自由研修	
	19 (月)	自由研修	
	20 (火)	自由研修	
	21 (水)	自由研修	
	22 (木)	自由研修	
	23 (金)	自由研修	
	24 (土)	帰国	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

授業では、午前は語学堂生徒と一緒にいき、午後の授業は国際情報大学の生徒だけで行われた。

i)韓国語

韓国語について学ぶ授業であった。授業は、1,2 時間目には文法の授業を毎日、3,4 時間目には「書き・読み・話す・聞く」を毎日ローテーションで行う。文法の授業では、その日に習った文法を使い例文を自分で作る課題が出された。その他には、日記などの課題に出された。この授業では、韓国語能力を向上させることが目的であった。

ii)映画

韓国語の映画を字幕なしで鑑賞するものであった。感想や映画のあらすじなどをグループごとに発表する。この授業はリスニング能力の向上だけでなく映画を通して韓国の文化を知ることが目的であった。

iii)歌

韓国の好きな歌を毎時間、数人ずつ発表し、その歌を全員で歌詞の意味を確認しながら歌うというものであった。発表ではなぜこの歌を選択したのか？誰の歌なのか？などを韓国語で短くまとめ紹介した。この授業では、韓国語を曲に合わせスムーズに発音できるようになることが目的であった。

iv)セミナー

授業の前半は、グループに分かれ決められたテーマについて調べまとめ発表。後半は、個人で韓国に関するテーマを選択し、それについて調べ、パワーポイントにまとめた。そして最後の授業日に一人10分程度で発表を行った。これは自分が関心を持ったことを理解すると同時にそれを韓国語でどう発表するのかを身につけることが目的であった。そして、最後には今回の留學生活で身に付けた韓国語の成果を魅せる場ともなった。

v)特講

国際教育院の院長などの講義を聞いたり、大学の外に出て K-POP ダンスを習ったり、ミュージカル鑑賞、韓国の伝統楽器やテコンドーなど韓国の文化に多く触れることのできる授業であった。この授業は日本ではなかなか経験することができないことを体験することができた。

vi)現地学習

夏学期の現地学習では、韓国民族村、博物館、N ソウルタワー、ミュージカル鑑賞などを二日間に分けて行った。秋学期では一泊二日で韓国の雪岳山に行った。クラスごとでの行動が多く、クラスメートとの仲を深める良い機会となった。

vii)テスト

「文法・書き・読み・話す・聞く」を二日間に分けて行われた。話す以外はすべて筆記で行われた。話すは先生との一対一で行うものとクラスメートと二人一組の会話形式で行うものであった。

viii)クラスの集まり

最後の授業の日にクラスメートとのメッセージ交換や会話を楽しんだ。

ix) 韓国語能力試験特別授

秋学期終了後、国際情報大学の生徒だけで行われた。韓国語能力試験の対策を中心に問題を多く解いた。

x) 自由研修

帰国前、最後の一週間は各自が自由にソウル観光や旅行を楽しみ、帰国準備を行う時間であった。

xi) 修了式

先生から一人一人修了書が渡された。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 韓国語能力の向上させること

その日習った、文法やフレーズをその場で先生やクラスメートと実践することができたためすぐに身に付けることが出来た。しかし、会話の中で分からない単語や聞いて理解することができても返答をできない場面が授業外で何度かあったため、これからは単語を覚えることと会話を意識した学習をしていく必要がある。

ii) リスニング力の向上と韓国文化を理解すること

韓国の色々な映画を観ることにより場面に合わせたフレーズを多く耳に慣らすことができた。映画の中で日本とは違うことを見つけることができ、文化の違いも理解できるようになり韓国の文化に合わせて生活することができた。しかし、上でも述べたように分からない単語が多くあることを実感した。ここでも単語を覚える必要がある。

6 反省・課題

約 4 か月の留学生活で多くのことを学ぶことができた。韓国語向上と韓国の生活を実際に体験することを目的として行った留学であったが、様々な国から集まった韓国語学習者と一緒に授業を受けることにより、とても良い刺激となり韓国語学習の意欲もより上げることが出来た。

今回の留学で得たことや感じたことを忘れず、これからはもっと意欲的に学習を続けていきたい

謝辞

今回、慶熙大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった、キム・スンミン先生をはじめとする慶熙大学国際教育院の先生方、川上洋子さんその他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、2016年前期の授業、出国前の各種活動への指導を賜りました、申銀珠先生、吉澤文寿先生、朴修禧先生には心より感謝いたします。最後に、本セミ新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本派遣留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

9月6日 火曜日 午前
夏学期初日
担当 イム・ジウン先生 クォン・スヒョン先生
内容 ・1、2時間目 文法 ・3、4時間目 話す

授業の内容と所感

授業の初日であった。夏学期は、日本で習った韓国語の復習のようなものであった。しかし、すべて韓国で行われる授業であるため先生の話をもとに理解することは難しかった。集中して先生の話をもとに聞くことや自分からどんどん韓国語を使うことが重要である。

9月8日 木曜日
現地学習
内容 ・慶熙大学校国際キャンパス見学 ・民族村 ・陶磁器製作体験

内容と所感

バスに乗り、国際キャンパスを見学した。その後、民族村に行き、韓国の昔の住宅の見学や昔の遊びを体験した。昼食を食べた後、陶磁器の製作体験を行った。この陶磁器は後日学校で渡された。民族村では韓国の昔の生活風景を感じることが出来た。

9月14日 水曜日
現地学習
内容 ・国立博物館観覧 ・ミュージカル鑑賞（ナンタ） ・Nソウルタワー

内容

国立博物館には、時代やテーマに分かれ、石器や書絵、彫刻が展示されていた。日本や昔から韓国と交流があったと考えられる国の展示品も観ることが出来た。

ミュージカル鑑賞では、1997年から公演が続いている『ナンタ』を鑑賞した。言葉が分からなくても楽しめるミュージカルであった。

N ソウルタワーではソウル全体を見渡すことが出来た。

11月1日 火曜日
テスト2日目
内容 ・「話す」のテスト

所感

初めてのテストだった。緊張もあったが、思うように話すことができず、授業で習ったことを実践不足であると考えた。書いて一人で読むという学習方法ではなく韓国人の方との会話の中で普段から実践することが必要である。

11月6日 日曜日
現地学習
内容 ・昼食 ・雪岳山登山 ・夕食 ・レクリエーション

具体的内容および所感

この現地学習は、クラスごとでの行動が多かった。そのために、クラスメートと多くの会話ができ、仲を深める機会となった。

昼食後、雪岳山へバスで向かったが、悪天候のために最後まで登山することは出来なかった。しかし、紅葉の時期であったために十分に満足することが出来た。その後、夕食後、ホテルに到着。ホテルでは、チームに分かれ様々なゲームが行われた。

